

# 第3次越谷市 地域福祉計画

令和3（2021）年度～令和7（2025）年度

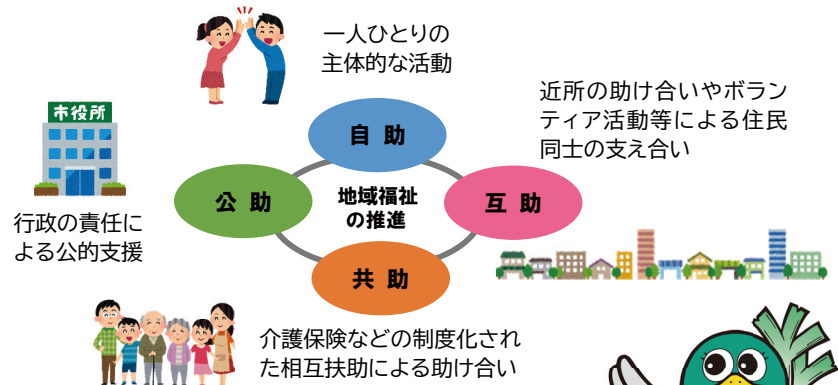
地域福祉の将来像  
地域の新たな支え合い  
～いきいきと暮らせる福祉のまち 越谷～



## 地域福祉って何だろう？

地域福祉とは、住み慣れた地域の中で一人ひとりがその人らしい生活を送れるよう、市（行政）・社会福祉協議会・事業者・関係機関・市民等が協力してつくる「暮らしやすい地域づくり」を進めることです。

この地域福祉を進める上では、「自助」「公助」だけでなく市民同士の支え合いにより解決していく「互助」「共助」が重要なポイントとなっています。



# 地域福祉の現状

● 全国的に少子高齢化や核家族化が進む中、一人暮らし高齢者、高齢者のみの世帯の増加を由来とする社会的孤立の問題、自治会加入率の低下など、地域のつながりの希薄化が進んでいます。

また、虐待や貧困、家庭内暴力、ひきこもり、さらに近年は、高齢の親と無職の子ども同居世帯（いわゆる「8050問題」）や、介護と子育ての時期を同時に迎える世帯（いわゆる「ダブルケア」）など、生活上の問題が重なり、多方面からの包括的な支援を必要とする人が増えています。このように複雑・多様化している社会問題や生活上の諸課題に対応するには、行政による福祉サービスの充実だけでは難しく、また、住民相互の助け合いだけでも難しくなっています。

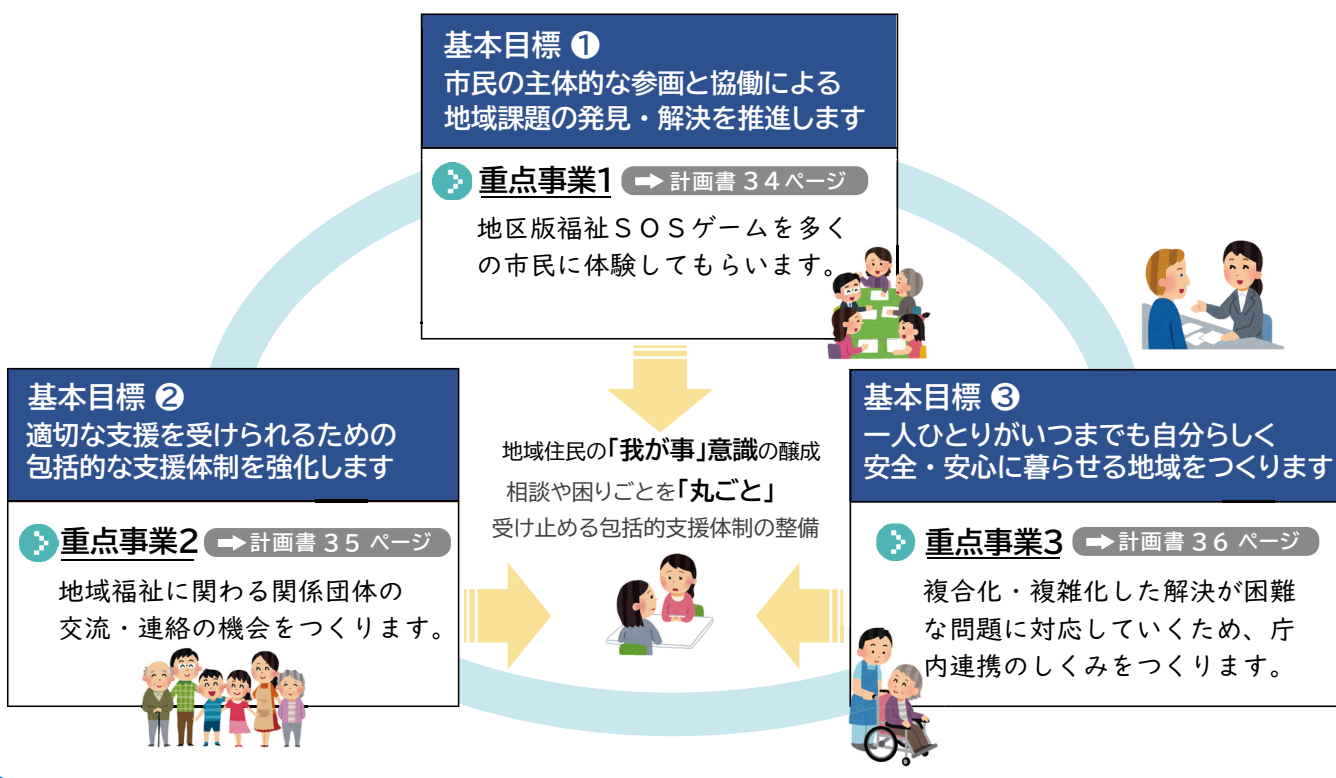


「8050問題」イメージ図

# 計画策定の経緯

● これらを踏まえ、地域共生社会の実現に向けて、本市では基本理念のもとに3つの基本目標と、さらにそれぞれの目標ごとに重点事業を位置づけます。

「越谷市版包括的支援体制」とは、これらを推進していくことで、地域共生社会の実現を目指すものです。地域課題を「我が事」として受け止め、早期発見や解決・支援につないでいくような意識の醸成を図るとともに、相談や困りごとがあった際には関係機関や行政等が「丸ごと」受け止め、適切な支援を実現する包括的支援体制の整備に取り組んでいきます。



# 地域福祉の基本的な圏域について

● 本市では、市内13のコミュニティ区域（公民館区）を基本的な単位として、地区からのまちづくりを展開しています。加えて地域福祉においても、13地区を日常生活圏域として、地域包括支援センター等の設置や市民活動の支援等を行ってきました。

これらを踏まえ、第3次計画では、13地区を地域福祉の基本的な圏域とします。

● また、地域福祉の取り組みを進めていくにあたっては、市民に身近な隣近所や自治会などの活動から、越谷市全体の活動まで、取り組み内容によって、その対象となる適切な範囲が異なってくることから、重層的な地域づくりが求められます。

そこで、本市では次の3つの階層を基本的な単位として、地域福祉を推進していきます。

第1層は、越谷市全体です。

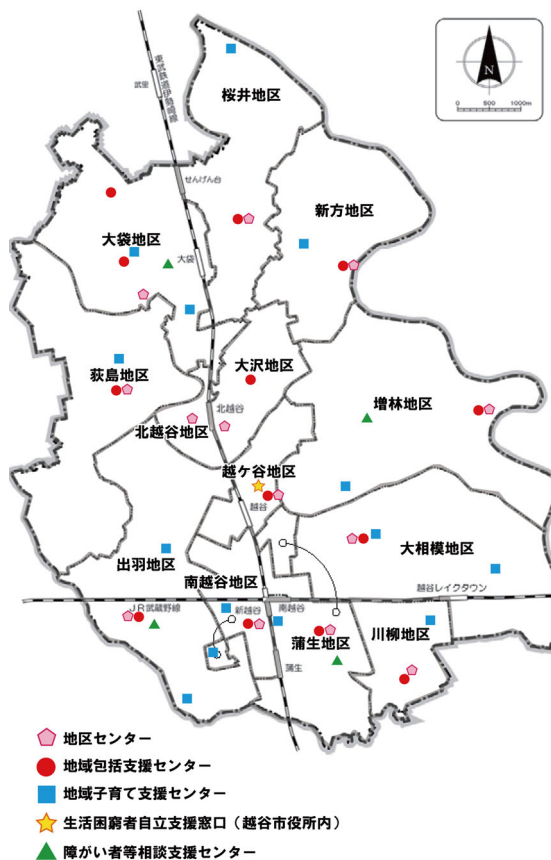
市内における多機関の連携・協働や、市内における分野横断型の連携等の取り組みを通じ、地域福祉課題を解決します。

第2層は、13地区（コミュニティ区域）

身近な場所で相談を受け止め、相談内容に応じて各相談機関が適切な対応を行います。解決が困難な場合は、必要に応じてさらなる支援につなげます。

第3層は、身近な隣近所・自治会などです。

日頃のなげない見守りや支え合いのある関係づくりを進め、身近な人のSOSを早期発見し、解決につなげます。



# 計画の体系

- 第3次計画は、前項で定めた3つの基本目標を実現するために、7つの

## ③ 施策体系

### 基本理念

すべての市民が生涯にわたり、すこやかに、いきいきと、人間らしく、安心して暮らすことができる福祉のまちを実現する

### 基本目標

1. 市民の主体的な参画と協働による地域課題の発見・解決を推進します



2. 適切な支援を受けられるための包括的な支援体制を強化します



3. 一人ひとりがいつまでも自分らしく安全・安心に暮らせる地域をつくりまします



### 基本方針

(1-1) 一人ひとりが互いに尊重し合い、地域で活躍できる機会づくり

(1-2) みんながつながりをもてる地域づくり

(2-1) 連携・協働による支援の輪づくり

(2-2) 社会的な孤立を防ぎ、支援につなぐ仕組みづくり

(2-3) 福祉サービスの更なる充実・向上に向けた環境づくり

(3-1) 多様な生活課題への支援に向けた体制づくり

(3-2) 福祉のまちづくり

人

地域

連携

包括

質向上

生活

まち

基本方針、15の施策を定め、それらに関連する事業を推進していきます。

## 施策

- (1-1-1)市民の地域福祉に対する関心と、地域の課題解決力を高めます
- (1-1-2)地域で活躍する人材を増やし、育てていきます

- (1-2-1)地域における交流や活動の場をつくります
- (1-2-2)地域活動団体への参加促進と活動を支援します

- (2-1-1)身近な地域の中で団体・専門機関の連携を強化します

- (2-2-1)身近な地域での相談支援体制を充実させます
- (2-2-2)支援が必要な人を把握する仕組みを推進します
- (2-2-3)権利擁護における仕組みを推進します

- (2-3-1)情報提供を充実させます
- (2-3-2)サービスの質を向上させます

- (3-1-1)複雑な地域課題へ横断的に対応します
- (3-1-2)適切な支援に結びつけるために、庁内連携を強化します

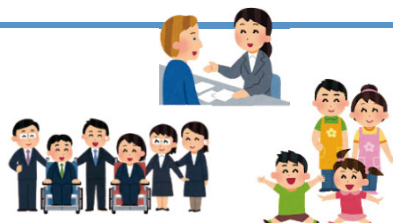
- (3-2-1)地域力を活かした防犯・防災対策に取り組みます
- (3-2-2)生活しやすい環境づくりに取り組みます
- (3-2-3)住まいや仕事の支援を充実させます

## 重点事業

- 1 福祉 SOS ゲーム等を活用した地域力の向上



- 2 地域福祉に関わる関係団体の交流・連絡の機会の創出



- 3 分野横断型の包括的な相談支援体制の構築



●基本理念の実現に向けて、次の3つの基本目標を掲げます。

## 基本目標1

# 市民の主体的な参画と協働による 地域課題の発見・解決を推進します

幅広い世代・立場の市民が、自分たちの地域に関心を持ち、参加・協働することで、様々な生活課題が早期に発見され、解決に至るような地域づくりを推進します。

(1-1) 一人ひとりが互いに  
尊重し合い、地域で  
活躍できる機会づくり

(1-2) みんながつながりを  
もてる地域づくり



## 1. 福祉 SOS ゲーム等を活用した地域力の向上

身近な地域の問題を「自分ごと」として捉える意識を育むことを目指して…福祉課題への対応策についてグループワークを行う「福祉SOSゲーム」を地域で実施し、地域の福祉資源や課題の共有と、助け合いの意識醸成を図ります。



### ● 福祉 SOS ゲーム開催の流れ（例）

福祉SOSゲームの  
サンプル版を使っ  
て、ゲームの内容を  
体験してみましょう



地区の地図を見なが  
らどのような資源があ  
るかを出し合ってみ  
ましょう



地域の中で、どの様な困  
りごと(SOS)があるか、  
どの様に解決できそうか、  
共有しましょう



市の出張講座を活用し、各地域で開催します。  
また、13地区の民生委員・児童委員、地域包括支援センター、自治会等が主体となり、自主的に開催することも可能です。



## 基本目標2

# 適切な支援を受けられるための包括的な支援体制を強化します

地域で孤立している人や、必要な支援に結び付いていない人を把握するとともに、生活上の困難や悩みを抱えた時に適切な支援につながるよう、包括的（総合的・一体的）な相談支援体制を強化します。

(2-1) 連携・協働による支援の輪づくり

(2-2) 社会的な孤立を防ぎ、支援につなぐ仕組みづくり

(2-3) 福祉サービスの更なる充実・向上に向けた環境づくり

### 重点事業②

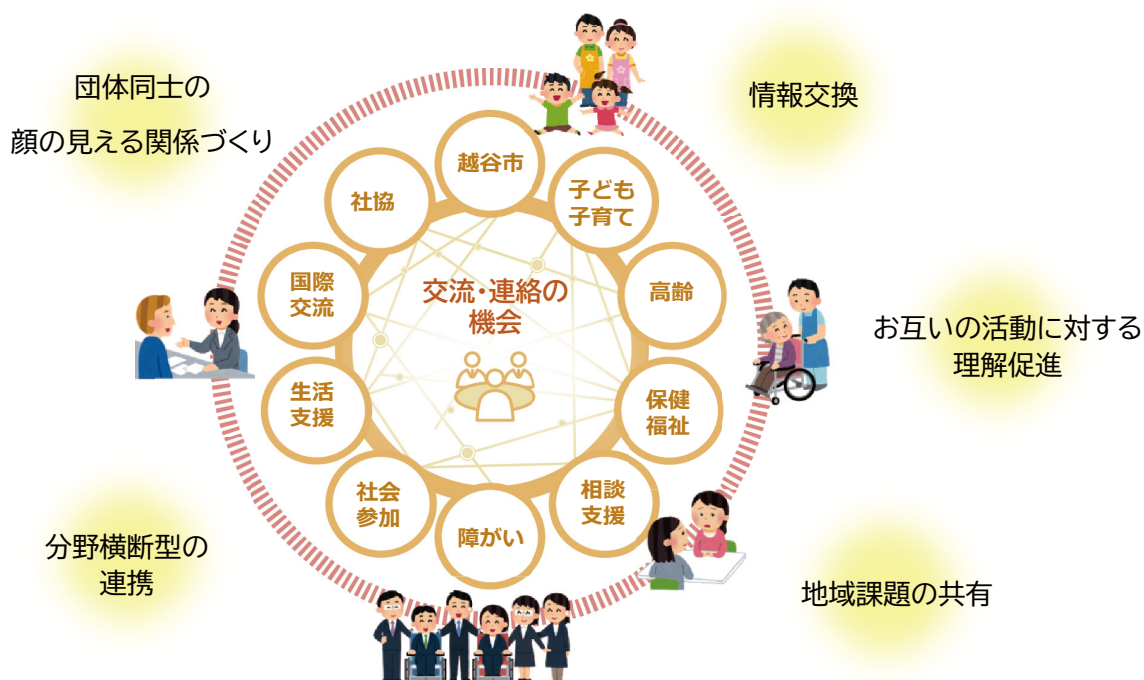
## 2. 地域福祉に係わる関係団体の交流・連絡の機会の創出

地域の中で、福祉のネットワークの輪が広がることを目指して…

地域福祉や相談支援等に関わる個人や団体・組織同士が連携を強化するため、交流・情報交換の場を設け、地域の状況や課題・解決策等を共有できる機会を創出します。



### ● 地域福祉に関わる関係団体の交流・連絡の機会（イメージ図）



## 基本目標3

# 一人ひとりがいつまでも自分らしく 安全・安心に暮らせる地域をつくります

従来の高齢者・障がい者・子どもといった分野別の福祉サービスを「縦割り」で提供するのではなく、世代や分野を超えた「丸ごと」の考え方でのつながりづくりや、課題解決の仕組みをつくっていきけるよう、誰にとっても、いつまでも自分らしく、安全・安心に暮らし続けられるまちづくりを、地域と市全体でつくります。

(3-1) 多様な生活課題への  
支援に向けた体制づくり

(3-2) 福祉のまちづくり

### 重点事業③

## 3. 分野横断型の包括的な相談支援体制の構築

越谷市全体での包括的相談支援体制の充実を目指して…

高齢者、障がい者、児童、生活困窮者などに対する分野ごとの相談支援体制では、対応が困難で課題が複合化・複雑化しているケース、制度の狭間にあるケースなどに対し、対応策について市内で検討できる「市内連携会議」を用いて課題解決を目指します。



### ● 対応の流れ (例)

世帯が抱える複合課題

①抱える課題が複数ある、または制度の狭間にある世帯が、身近な場所で相談をします

①身近な場所で相談する

②それぞれの相談支援機関が、相談に対して適切な対応を行います  
※解決が困難な場合

②相談機関が適切な対応

【各相談支援機関(一例)】



地域包括支援センター



障がい者等相談支援センター



子育て支援拠点



生活自立相談

③市内連携会議のネットワークを活用し、関係課所で適切な役割分担のもと問題解決につなげます

③適切な役割分担のもと複数課所に対応

【越谷市】



生活福祉課  
障害福祉課  
地域包括ケア課  
子ども福祉課 など

関係課による協議の場を設置

- ・緊急対応のルール化
- ・これまでの対応実績の情報共有
- ・新たな課題への対応検討